



湖西の風

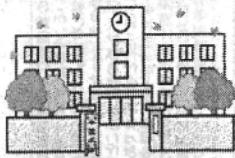
「生徒信条」

- ◇心身の鍛磨 ◇真理の探求
- ◇勤労の愛好 ◇情操の陶冶

令和3年3月24日 文責 下澤

卒業式が無事に終了しました!!

令和3年3月13日(土)、第73回令和2年度卒業式が無事に終了しました。保護者と職員に見送られて、晴れやかに91人の卒業生が巣立っていきました。今までご支援いただいた皆様ありがとうございました。お世話になりました。



本年度、1年間本当にありがとうございました。次年度もどうぞ
よろしくお願いします。(裏面に学校評価を記載しています)

(様式1)

令和2年度学校評価自己評価報告書および学校関係者評価報告書

高島市立湖西中学校

学年	＜学校教育目標＞
教員	「心豊かで、たくましく生きる生徒の育成」
育成目標	「くめざす子ども像」
の評価概要	「他を大切にしながら、自ら考え、仲間とともに主体的に学ぶ生徒」
くめざす学校像	「活動思いやりがあふれる学校」

昨年度の評価結果	今年度の生徒の落ち着きや、地域での活動は、素晴らしい。保護者アンケートにて、「湖西中学校、むくねる雰囲気が良い、数年前に比べて」とある。1年生の保護者であることが多いため、安心して子ども任せができることができるようである。子どもの学校生活の充実度も、非常に高い結果がいる。郷土の人である横水安三先生の「学而事人」の教えを大切にし、生徒は、その教えの意味「学んだことを世の中のために生かす」という実践を、しっかりと行っている。母校、必ず行っている「学而事人」おはようミーティングが、学校での活動はどちらん地域が「かわる」ととともに、大きな役割を果たしている。今年度は、学而事人ファームや勤務事人の道、学而事人の市、学而事人ムージアム等の「学事人OOOOO」をさん作ってきた。コミュニティ・スクールとなり、湖西中学校が地域に影響を与える学校となっている。生徒の学校内の貢献も大きい。学校内における各種集会や学校外での委員の良さは、誰もが認めるまでになっている。授業の学習規範は、生徒の自己評価「しっかりとできているが、どの学年も非常に割合が高い。他校と明らかに違い、生徒が自分の学校を誇りしている。」
----------	--

中	口豊かな心を身につけ、認め合い、支え合い、共に成長する集団の育成 口学んだことを地域社会の中で生かす社会性の伸長(学而事人) 口社会的規範が身に付いた生徒の育成 口学校や地域に誇りがもてる教育活動の展開 口授業で活動の質を高め、自ら進路を切り拓く学力の育成
---	--

評価項目(指導力点)	指標: 到達目標(成果指標・取組指標)	達成状況	評定	改善方策	学校関係者評価
○豊かな心を育む教育活動	・あいさつができる学校づくりをします。各教育活動において生徒とのふれあいを大切にします。	生徒「周囲に人の気持ちよく挨拶をしている」: 96% 「学校生活は楽しく充実している」: 93% 教員「学年の生徒一人ひとりの居場所があり、楽しい学級の雰囲気が作り出せた」: 75% おはようミーティング、生徒会、部活動による効果	A	約90%以上の生徒が「学校生活は充実して実施している」と返答していることはよかったです。ただし、残りの4%の生徒が自分の居場所を見つけていないことを要重视しなければならない。担任を中心に、ライフケアや日々の声かけ振り返しレポート、教育面談などを徹底した。次年度も教育面談の頻度を高めて生徒の気持ちは寄り添った教育活動を進めたい。	教師と生徒との距離感が近く、安心して学校生活を過ごしているように思う。少し戸惑いや戻りやすいところがあるのが、担任も学生主任も生徒と話ができるところがよい。すごく手厚くやってもらっている。6月の再登校の表情を見て、改めて中学校の存在の大きさを感じた。いじめについての取組は今後も継続してほしい。差別や排除の実態がない分、生徒の評価は高い数字になって表れている。大きないじめ事案は無かつたし、起きた事案については、聞き取り、見守りなど休み時間も対応していることを評価したい。教員は全般的に話しやすいイメージである。生徒は学習面、生活面ともに充実していると思う。人権意識の向上における教員の取組について自己評価はもっと高くてもいいと思う。生徒会活動における人権意識などの取組も評価できる。人権意識がさらに向上していくことを願う。
	・教育相談を重視し、生徒理解を進め、個に応じた教育支援を行います。生徒指導の委員会を促進し組織対応を進めます。	生徒「先生に気軽に相談したり、話をできる」: 79% 保護者「何が課題があったときに、学校と相談しやすい」: 87% 教育相談訪問の推進、ライフトーク、日々の声かけ、いじめ対策委員会、教育相談推進委員会を輪に職員組織を機能させた。	B	生徒の「仲間はすればいいじめをしない、させないようしている」: 94% 保護者「子どもを安心して学校へ通わせることができると」: 96% 教員「学校生活中で起こるいじめや人権問題に適切な指導ができていて」: 85% いじめ対策委員会、生徒会、いじめ撲滅運動	教員「振り返しリポートの結果や教諭育相談を通して、問題の早期発見・早期対応ができたか」: 83% 「生徒会活動で、人権や学校生活の向上に取り組んだ」: 83% 生徒会活動による「いじめ撲滅運動、文化祭人権劇、他、総合的な学習、道徳の推進」
	・学級や学年を単位として、いじめのない集団づくりに努めます。人権学習を進め、人を大切にする意識を育てます。	生徒「仲間はすればいいじめをしない、させないようしている」: 94% 保護者「子どもを安心して学校へ通わせることができると」: 96% 教員「学校生活中で起こるいじめや人権問題に適切な指導ができていて」: 85% いじめ対策委員会、生徒会、いじめ撲滅運動	A	教員「振り返しリポートの結果や教諭育相談を通して、問題の早期発見・早苗対応ができたか」: 83% 「生徒会活動で、人権や学校生活の向上に取り組んだ」: 83% 生徒会活動による「いじめ撲滅運動、文化祭人権劇、他、総合的な学習、道徳の推進」	教員「振り返しリポートの結果や教諭育相談を通して、問題の早期発見・組織対応を進めるべきです。」
	・いじめをなくすための生徒会活動の活性化を図ります。SOSカードなどを徹底し、早期発見、組織対応をすすめます。	教員「振り返しリポートの結果や教諭育相談を通して、問題の早期発見・早苗対応ができたか」: 83% 「生徒会活動で、人権や学校生活の向上に取り組んだ」: 83% 生徒会活動による「いじめ撲滅運動、文化祭人権劇、他、総合的な学習、道徳の推進」	A	教員「振り返しリポートの結果や教諭育相談を通して、問題の早期発見・組織対応を進めるべきです。」	教員「振り返しリポートの結果や教諭育相談を通して、問題の早期発見・組織対応を進めるべきです。」
○確かな学力を育む教育活動	・授業時間数の確保に努めます。	3.4.5月の遅れはあったものの、夏休み、冬休みの短縮、9教科を重視した授業、生徒のがんばりにより、授業数の状況は100%を超える予定(R3.3.現在)、コロナ禍における生活様式で、話し合いや合唱、実験観察、調理実習などに制限がかかる。	B	英語、数学における少人数指導は次年度にも継続させたい。授業中の交話と個々の生徒への適切な指導を進め、力量を向かせたい。	少人数授業は、実験課に取り組めている。ペア学習等についてもよく工夫されていることで効果が出ている。生徒の評価は高く、保護者からの期待も高い。
	・少人数指導等による個に応じたきめ細かな指導の充実を図ります。	生徒「少人数による授業はわかりやすかった」: 95% 保護者「学校の学習指導は効率的に実行されている」: 78% 教員「わかる授業と確かな学力の定着に努めた」: 80% 学力学習状況調査「少し人数はわかりやすい、意欲がでる」: 80% 『B』: 80% 個別指導、学習支援	A	ICT活用に対する期待は高まる一方であるが、学校運営協議会から受けた指揮は肝に詰めておかなげではない。「ICTは使われたままだめ、使いづらいからはない。常にその経験を積むものであってはならない。最も早く、最も多くの大切さを無くしてはならない」スマート世代の生徒ならではの小さなことが可能になる。ICTの可能性と現在までの学びの大きな変革と連携すること重要である。	本年度はタブレットが一人一台貸されさせて大がなつながった。環境が整備されたことの効果が大きいて出ている。ただ、ノートなど書くことを得意とする生徒にとってはない。机に直書きするところの大切さを理解していない。スマート世代の生徒ならではの小さなことが可能になる。ICTの可能性と現在までの学びの大きな変革と連携すること重要である。
	・めあてを明示し、「振り返り」を行う授業づくりに努めます。	生徒「めあての提示や振り返しで意欲・興味がもてた」: 88% 「めあてを明示し、めぐさーぐやそれまでの道筋を明確化・評価の内容を伝えより意欲的主体的な授業をつくる、「振り返り」による定着感を確認する。一時間完結型の授業づくり	B	家庭学習等で、めあてを明示し、めぐさーぐやそれをめぐる道筋を明確化・評価の内容を伝えより意欲的主体的な授業をつくる、「振り返り」による定着感を確認する。一時間完結型の授業づくり	家庭学習等で、めあてを明示し、めぐさーぐやそれをめぐる道筋を明確化・評価の内容を伝えより意欲的主体的な授業をつくる、「振り返り」による定着感を確認する。一時間完結型の授業づくり
	・ICT機器を効果的に活用し、学力向上を図ります。	生徒「授業中ICTの活用で内容がよくわかった」: 97% 「一人一台のタブレットを使用、生徒の意欲を高めるツール、合理的な配慮、ローリーの活用による対話的な授業の展開、リモートによる生徒の学習保障、コロナ禍による使いまわし制限、他	A	学習規範は個別化小一貫教育を実現させていいかねばならない。そういう意味でも本年度の北小学校との合同生活は大きな成果があつた。小学校の生徒はもちろん、教員の姿勢には学ぶものが多くあつた。次年度は一貫教育の全体の体制づくりをさらに強化かねんにしたい。	家庭学習等で、めあてを明示し、めぐさーぐやそれをめぐる道筋を明確化・評価の内容を伝えより意欲的主体的な授業をつくる、「振り返り」による定着感を確認する。一時間完結型の授業づくり
	・ペアやグループでの学び合う活動の充実を図ります。	生徒「生徒との間で話合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げるところができる」という: 90% 「生徒的・対話的で学びいのる授業づくり、学び合い活動の促進、生徒が安心して学べる雰囲気の構成	B	家庭学習等で、めあてを明示し、めぐさーぐやそれをめぐる道筋を明確化・評価の内容を伝えより意欲的主体的な授業をつくる、「振り返り」による定着感を確認する。一時間完結型の授業づくり	家庭学習等で、めあてを明示し、めぐさーぐやそれをめぐる道筋を明確化・評価の内容を伝えより意欲的主体的な授業をつくる、「振り返り」による定着感を確認する。一時間完結型の授業づくり
	・保幼小中の連携を図り、学習規律の定着や家庭学習の習慣化を図ります。	教員「学習に取り組む姿勢や学習規律を身に付けさせる指導ができる」: 80% 「家庭学習を2時間以上している」: 72% 保護者「子どもは家庭での学習習慣が身についている」: 53% 「宿題や課題の内容は適切」: 59% 教員「保幼小中一貫教育」: 58%	C	学習規範は個別化小一貫教育を実現させていいかねばならない。そういう意味でも本年度の北小学校との合同生活は大きな成果があつた。小学校の生徒はもちろん、教員の姿勢には学ぶものが多くあつた。次年度は一貫教育の全体の体制づくりをさらに強化かねんにしたい。	家庭学習等で、めあてを明示し、めぐさーぐやそれをめぐる道筋を明確化・評価の内容を伝えより意欲的主体的な授業をつくる、「振り返り」による定着感を確認する。一時間完結型の授業づくり
	・部活動の活性化を図ります。・健康教育を促進し、基本的生活習慣の定着を図ります。	生徒「部活動は充実していた」: 98% 教員「部活動指導に意欲的に取り組み、練習時間や約束ごとに指導をした」: 88% 「生徒の健康管理や生活安全の意識は高まつたと思う」: 68% 管理監理意識をもって生徒の指導にあつた」: 85% 安全な学校	A	部活動については生徒の思いも保護者、地域の思いも同じ方向を向いている。生活習慣の育成は学校、保護者、地域が一体となって導いていく。	次年度から部活動の項目と生活習慣の項目は分ける必要がある。基本的な生活習慣の育成については学校だけではなく、保護者や地域との連携を進めてほしい。
○健やかな身体を育む教育活動	・地域の方々との協力を得て、郷土のよさに触れる体験活動を実施します。・地域の方とともにを行う教育活動を促進します。	生徒「地域や学校外の方のお話で郷土のことよくわかった」: 99% 保護者「地域・校外学習は意義があった」: 88% 教員「地域の自然や人、歴史・文化を生徒いた道筋、統合的な学習に取り組んだ」: 75% 統合的な学習の時間に探究的な学習を展開した	A	本年度も、学校運営協議会とむくねの花の会の両輪で「コミュニケーションスクール」が強く推進されました。この授業のおかげでコロナ禍でもあったにもかかわらずふるさとの学習や生き方学習が進んだ。体験的な学習をより多く取り入れ生徒の評価も高かつた。次年度に跨る地域とのかかわり基礎にした学びを踏襲していくために、地域で今福地で行われるおもるのふれあい大として「教育活動をめぐらむ、むくねの花の会」を立ち上げる。また、毎年春に開催している「PTA」との連携によって、地域の今福地で行われるおもるのふれあい大として「教育活動をめぐらむ、むくねの花の会」を立ち上げる。地域の今福地で行われるおもるのふれあい大として「教育活動をめぐらむ、むくねの花の会」を立ち上げる。	おはようミーティングで教員と地域の方、生徒と触れ合う様子がとても良い。2年の志学の花(いにしへ)は開催した。中学生がおひがい地図を進めていくことがすばらしい。ふるさとの学習や世界の視野学習を実習化するなど地域教材を使ったり、講師の説明により体験的な活動ができる。コロナ禍の影響でいろいろな制限があったが次年度では予定通り活動できるといい。コミュニケーションスクールについて立ち上げから3年、5年経つと下火になることも多いのですが、湖西中ではそうならないための仕組みができない。コミニティスクールについて立ち上げから3年、5年経つと下火になることが多いのですが、湖西中ではそうならないための仕組みができない。しかし、PTAとのつながりが見えない。学校マニュエストを年度当初にしっかり伝えてもらいたい。
	・キャリア教育を柱に将来の自己実現を図る教育を開拓します。	生徒「今後の役に立つ人間になりたいく思う」: 83% 「将来の夢や目標を教えてもらう」: 86% 保護者「誰かが心配される、社会性が身についていている」という: 83% 教員「学年担当の先生が「マイライフ1、2年学年、修学旅行、離婚体験、志の学の高い、グローバルな視点の育成」他	A	本年度も、学校運営協議会とむくねの花の会の両輪で「コミュニケーションスクール」が強く推進されました。この授業のおかげでコロナ禍でもあったにもかかわらずふるさとの学習や生き方学習が進んだ。体験的な学習をより多く取り入れ生徒の評価も高かつた。次年度に跨る地域とのかかわり基礎にした学びを踏襲していく。地域で今福地で行われるおもるのふれあい大として「教育活動をめぐらむ、むくねの花の会」を立ち上げる。また、毎年春に開催している「PTA」との連携によって、地域の今福地で行われるおもるのふれあい大として「教育活動をめぐらむ、むくねの花の会」を立ち上げる。	おはようミーティングで教員と地域の方、生徒と触れ合う様子がとても良い。2年の志学の花(いにしへ)は開催した。中学生がおひがい地図を進めていくことがすばらしい。ふるさとの学習や世界の視野学習を実習化するなど地域教材を使ったり、講師の説明により体験的な活動ができる。コロナ禍の影響でいろいろな制限があったが次年度では予定通り活動できるといい。コミュニケーションスクールについて立ち上げから3年、5年経つと下火になることが多いのですが、湖西中ではそうならないための仕組みができない。しかし、PTAとのつながりが見えない。学校マニュエストを年度当初にしっかり伝えてもらいたい。
	・コミュニティスクールを促進し、開かれた学校づくりを進めます。学校・地域(保護者)・生徒が一体となってよりよい町づくりをめざします。	保護者「地域の指導者と共に進行する授業等は今後も続けてほしい」: 83% あいさつ運動、学而事人ファーム、盆地下校や校外学習の見守り、学校図書ボランティア、学年担当の教員、高島市の未来を担う生徒の育成、休みボランティア、学校運営協議会と地域学校協働事業・むくねの花の会の定期的開催、他	A	本年度は教育目標に「心豊かでたくましく生きる生徒の育成」を掲げ、豊かな心、健やかな身体を背負こと重点に教育活動を展開した。また、本校の屋上骨であるコミュニケーションスクールも学校運営協議会とむくねの花の会の両輪にして進めた。生徒の屋上骨づくりをポイントにして、いじめのない平和な学校づくりを実現する。	本年度は教育目標に「心豊かでたくましく生きる生徒の育成」を掲げ、豊かな心、健やかな身体を背負こと重点に教育活動を展開した。また、本校の屋上骨であるコミュニケーションスクールも学校運営協議会とむくねの花の会の両輪にして進めた。生徒の屋上骨づくりをポイントにして、いじめのない平和な学校づくりを実現する。

学校関係者評価	評定	学校関係者評価を踏まえての改善点
学年	A	今年度も教育活動全般にわたり、湖西中の積極的な取組が評価できる。常に子どもファーストである限りをしてくださったことがあります。生徒は安心して学校生活を送っている。今年度はコロナ禍で教育活動やコミュニケーションスクールの推進にも支障が出た。各活動に様々な制限があったがその都度、地域と相談しながらとでもよく取り組んでもらつた。保護者も協力体制が意識されていた。例年通りはいかないところもあったが、今年(コロナ禍の年)だったのでこそ経験できることもあったと思う。今後この経験がよい生徒個人のよい思い出になると同時に、卒業生が力強く歩いていくための糧になることを望む。生徒は制限された状況でも努力的で雰囲気も良かった。生徒の命に従うこととして生活様式を徹底していくことも印象であった。北小が校舎を借りたことでは中学校とのハーフドアが下がつた。期間中はとても良い雰囲気であった。保幼小中一貫教育の推進としても大きな期間となつた。今後も学習規範や教職員同士の資質向上のためには保幼小中一貫教育をすすめほしい。今年度に得たことを応用して子どもたちの健全育成のために歩んでいく。学校運営協議会とむくねの花の会で学校を盛り上げていきたい。できる限り学校の情報を保護者や地域への発信を経て開かれた学校づくりを進めてもらいたい。



湖西中だより

1

「生徒信条」

- ◇心身の鍛磨 ◇真理の探求
- ◇勤労の愛好 ◇情操の陶冶

令和3年4月12日 文責 下澤

湖西の風

日増しに暖かくなる空気に春爛漫を感じる頃となりました。令和3年度の湖西中学校がスタートです。本年度は全校生徒276名です。教育目標は「心豊かで、たくましく生きる生徒の育成」です。保護者の皆様には、本校の教育活動につきまして、温かいご支援とご協力をどうぞよろしくお願ひいたします。

令和3年度の入学式が無事に挙行されました。1年生の皆さん、ご入学おめでとうございます。ご参列いただいた保護者の皆様ありがとうございました。

4月



《職員紹介》

職名・担当	氏 名	教科	部活動顧問
校長	下澤辰次		
教頭	村田秀俊		
教務主任	青谷充	技術	科学工作・女子バスケットボール
1年主任	岩田欽也	理科	剣道
1年1組担任	藤井幸子	国語	男子ソフトテニス
1年2組担任	山口真里奈	数学	女子ソフトテニス
1年3組担任・生徒指導主事	小屋勉	社会	陸上競技
1年担当・少人数指導	押田英貴	英語	男女卓球
1年担当	古胡美紀	美術	美術
2年主任	橋本巧	社会	女子ソフトテニス
2年1組担任	澤村まゆみ	英語	女子バレーボール
2年2組担任	澤裕人	保健体育	男子バスケットボール
2年3組担任	長谷川尚輝	数学	女子バレーボール
さざなみ2組担任	西尾拓也	音楽	吹奏楽
2年担当・生きる力加配	齊藤宏樹	保健体育	男子バスケットボール
3年主任	落合孝夫	理科	男女卓球
3年1組担任	仁賀志織	保健体育	陸上競技
3年2組担任	山崎久栄	国語	家庭部
3年3組担任	辻村元喜	英語	野球
さざなみ1組担任	藤戸和美	家庭	吹奏楽
3年担当	澤井康次	数学	野球
養護教諭	荻野春香		家庭部
事務主査	三宅裕美		
さざなみ1組担任	青井津樹		
1年英語担当	上田藤市郎	英語	
1・3年数学担当	八田舞	数学	
ALT	エマ ハーフォード		
初任者指導教員	桂田浅義		
教育支援員	松宮梨絵		
教育支援員	北村るみ		
地域学校協働活動推進員	大藤耕平		
スクールカウンセラー	松本知香		
用務員	水谷正子		



令和3年度から新学習指導要領による学習が始まります。子どもたちに育てる資質・能力を「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」の3つの柱に整理して進めていきます。学び方についても、「何を学ぶか」だけではなく「学んだことを生かして何ができるようになるか」を重視します。道徳が「特別の教科 道徳」となることなど、これまでの成果を生かしながら新しい教育活動を行っていきます。

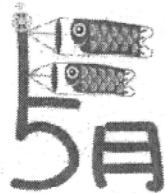


湖西の風

「生徒信条」

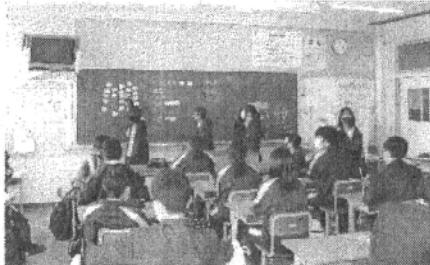
- ◇心身の鍛磨 ◇真理の探求
- ◇勤労の愛好 ◇情操の陶冶

令和3年5月6日 文責 下澤



5月です。ようやく風薫る心地のよい季節となりました。始業式以来約1ヶ月が過ぎ、各学年とも落ち着いた雰囲気が漂っています。特に、授業では課題に対して発表や質問が積極的に出るなど前向きな姿が見られます。1年生は、9教科の授業の進み方にも慣れてきました。2年生は、授業そのものを自分たちで作ろうとする貴禄が出てきて、3年生は、実力テストの解説に前のめりになるなど「さすがは」という様子です。部活動は、1年生の仮入部が始まり手取り足取り上級生が後輩を教えています。何もかも緊張感がある新鮮なスタートです。

今の気持ちを忘れないで、1年間を大事に歩んでいきましょう。



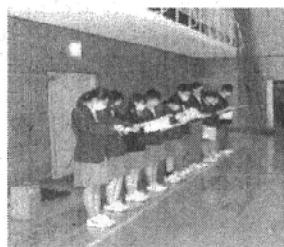
頑張れ生徒会執行部！

オリエンテーション～専門委員会～生徒総会へ

今年度も生徒会執行部は大忙しです。4月12日(月)に新入生のオリエンテーションが実施され、中学校生活のガイダンスや湖西中の生徒会組織を丁寧に説明しました。「姿勢を正して、黙想、礼(授業前に気持ちの準備をします)」の実践練習ではクラス全体でやり直しをす

るなど、1年生にとって必死な場面もありました。16

日(金)には第1回生徒会専門委員会が行われ、各専門委員長のあいさつと「委員会の校内での役割、具体的な活動内容」などを確認しました。30日には執行部が制作した「KHE(湖西中に広めよう笑顔の輪):はじめ撲滅運動」のオリジナル創作動画を見て人権意識を高めました。執行部のみなさんは本当に忙しい日々を送っています。次は生徒総会ですね。大変だとは思いますが、よろしくお願ひします。



ICT元年 お便りで伝えましたが、いよいよ1人1台のタブレットを携帯し、活用していく学校生活が進みます。毎日の学習や生活の向上にPCがいかに有効な手段となるか、含めて皆さんと一緒に話し合っていきましょうね。前年度末、学校運営協議会より「スマホ世代の生徒ならではの色々なことが可能になるでしょう。とても期待します。一方でICTは使われたらだめ、使っていかなくてはなりません。読み書きの経験を奪うものであってはなりません。繰り返し書くなどの大切さを無くさないようにしてください。」



というご指摘をいただきました。ICTの可能性と今までの学び(読み書きなど)を融合させていきます。

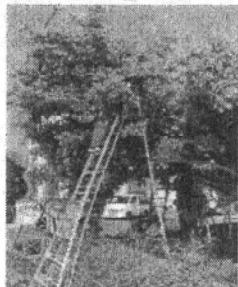
R3 コミュニティスクール 推進中



4月12日(月)8:50から地域学校協働本部(むくげの花の会)会議、10:15から第1回学校運営協議会が行われました。

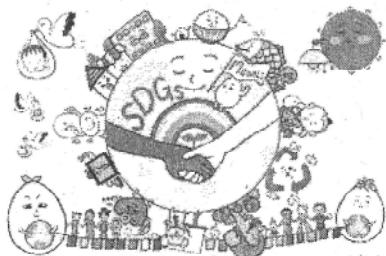
令和3年度の年間計画などを承認していただきました。今年度もどのように保護者、地域、学校が三位一体となって教育活動を進めるかについて話し合われました。今年度の学校運営協議会委員は、岸本広樹(委員長)さん 川島美穂(副委員長)さん 山川和子さん 戸上恵理子さん 加藤智彦さん 服部哲也さん 大藤耕平(CS推進員)さんです。どうぞよろしくお願ひいたします。

4月15日にむくげの花の会の皆様に校門前樹木の剪定作業を進めていただきました。ありがとうございました。



知っていますか、SDGs

~本校はSDGsを今年度の取組の大きな柱にします~



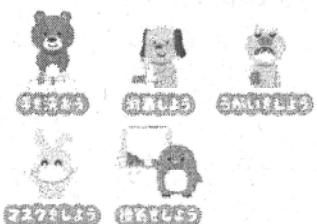
テレビのニュースやイベント告知でもよく取り上げられていますね。SDGsとは

「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」のことです簡単に説明すると、「世界にある課題を、世界で解決するための目標」のことです。つまり「湖

西中も世界と一緒に歩む」ということになります。2,3年生は昨年度、総合的な学習や道徳で学習しましたね。この学習を通して「未来の高島市や社会・世界」が平和で安心して暮らせる所になることを祈ります。

コロナ禍 滋賀県や高島市、湖西中も警戒中!

やるべきことは今までと同じです。①3密の回避②マスクの着用③手洗い(消毒)④換気の徹底などです。ご家族



でも取り組んでいただいていることだと思います。互いに気を付け合うことで自身の健康状態を良好に保つことになります。みんなで意識を高め合っていきましょう。

これからも湖西中や高島市がチーム一丸となってこの危機を乗り越えていきましょう。

4月13日(火)第1回防災訓練が行われました。今回は火災を想定し、避難経路を確認することが目的でした。防災ベルが鳴って全校の集合完了まで、何と3分1秒! すばらしい速さでした。教職員の連携と生徒の意識の高さによるものです。2学期に3学期にも行われます。

4月16日(金)PTA実行委員会 お忙しい中、PTA役員様に集っていただきました。

緒方会長からスローガン「保護者が参加しやすいPTA活動への変革」について提案がありました。各事業部でコロナ禍の影響を配慮どのように活動を行っていくかなどが話し合われました。



ありがとうございました。